

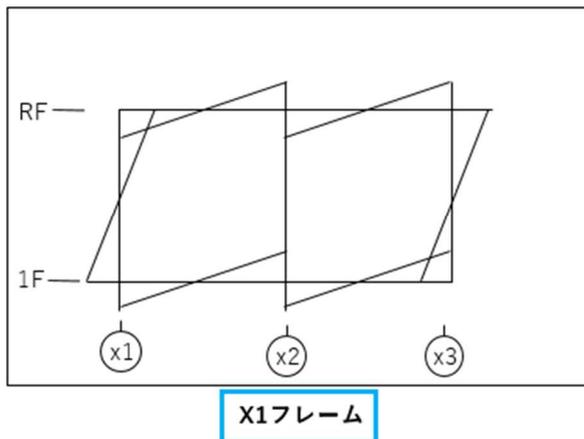
3. モデリングの基本ルール

3.2. フレームのルール

(1) フレームの取り扱い

- ・フレームとは、計算書で取り扱う"通り"のことです。
- ・フレームは、通り名称と、どの部材がその通りに所属しているかの情報を持っています。
- ・フレームは、計算書の応力図や部材位置の表示のために設定します。
- ・フレームの設定は、解析や計算の結果には影響しません。

応力図



梁の断面検定表

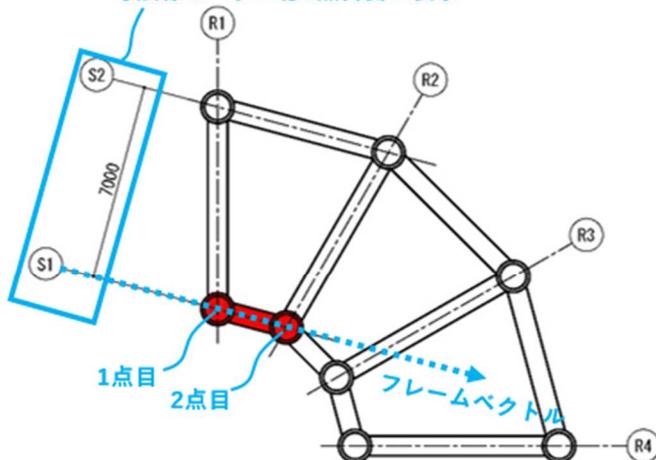
2G1		BxD	400x600	曲げ
位置	RF	Y1/X2-X3		
L	5000	Lo	4300	LM
Fc	24	dT/dB	60/60	SM
Fy	345	Fys	295	My
主筋	左端	中央	右端	MD
上端	2D25	2D25	2D25	ケー
pt	0.47%	0.47%	0.47%	検定

(2) フレームの設定

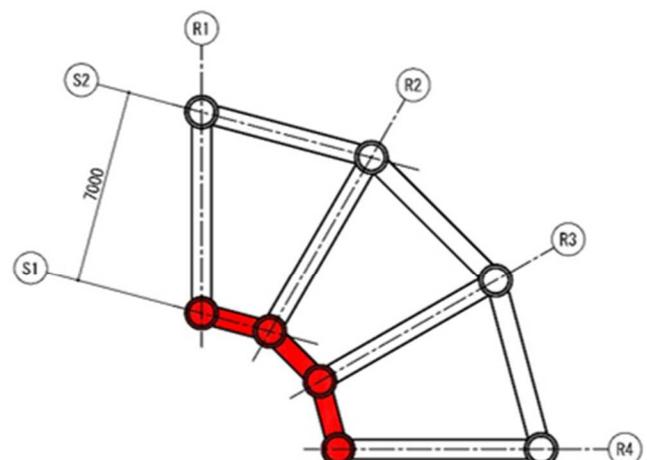
- ・フレームは、ベクトル 2 点で設定します。
- ・デフォルトでは、フレームベクトルの直線上に配置されている部材がそのフレームに所属します。
- ・フレームベクトルの直線上に配置されていない部材を同じフレームに所属させることもできます。
- ・寸法線やバブルは、ベクトル 2 点の 1 点目側に表示されます。

※eGen では、寸法線に表示される通り名称のマークをバブルと呼びます。

寸法線とバブルは1点目側に表示



デフォルトでは、フレームベクトルの直線上に配置されている部材がそのフレームに所属します。

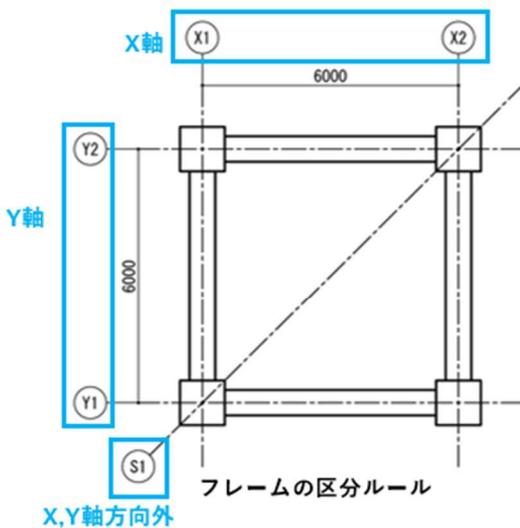


フレームベクトルの直線上に配置されていない部材を同じフレームに所属させることもできます。

3. モデリングの基本ルール

(3) フレームの区分

- ・フレームは、"X軸"/"Y軸"/"X,Y軸方向外" に区分されます。
- ・デフォルトでは、以下のルールで区分されます。
 - X軸：全体座標 Y軸方向のフレーム
 - Y軸：全体座標 X軸方向のフレーム
 - X,Y軸方向外：その他のフレーム
- ・計算書の水平荷重時応力図、終局強度図、ヒンジ図は、加力方向のフレームが出力されます。
- ・構造計算書の出力設定によって、加力方向と直交方向のフレームと"X,Y軸方向外"に区分されたフレームも出力できます。



構造計算書の出力設定

"直交方向フレームの考慮"にチェックすると、加力方向と直交方向のフレームと"X,Y方向外"に区分されたフレームも出力されます。

3. モデリングの基本ルール

(4) フレームの確認方法

・フレームは以下の方法で確認することができます。

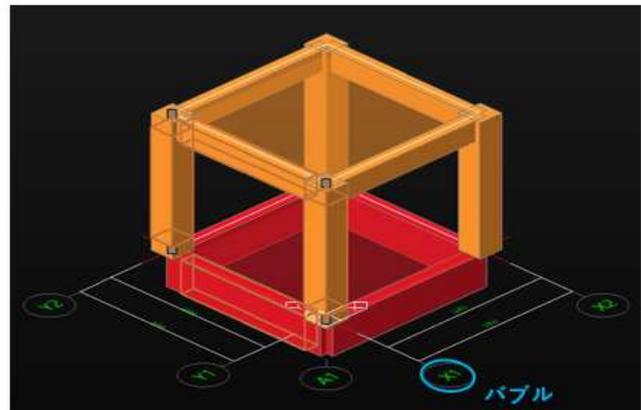
- ① グループングツリーで確認する
- ② バブルをクリックして確認する

・CAD 図面を登録してモデルを作成する場合、CAD 図面とフレームの表示が似ているので注意して下さい。



① グループングツリーで確認する方法

グループングツリーに、登録されているフレーム名が表示されます。フレーム名をダブルクリックすると、フレームに所属している部材が選択されます。



② バブルをクリックして確認する方法

バブルをダブルクリックすると、フレームに所属している部材が選択されます。